

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校
担当者	指導教諭 安東 真美 教 頭 服部 功
電 話	0 8 6 9 - 9 3 - 1 1 8 8

和気閑谷高校×IPU 環太平洋大学×地域企業等との
開発商品「ふじのかおりのバスソルト」がつなぐ
石川県立輪島高校との交流
「震災の経験、現状、そして復興への想い」

昨年度、岡山県立和気閑谷高等学校、IPU・環太平洋大学経済経営学部現代経営学科大池研究室、石川県立輪島高等学校、株式会社山博、和気町、および和気鶴飼谷温泉が、共同で開発・製造した「バスソルト」は、地域の活性化と被災地支援を目指し、産学官が一体となって取り組んできたプロジェクトです。

この度、石川県立輪島高等学校の生徒・教員が岡山県を訪れ、「バスソルト」に関わった岡山県立和気閑谷高等学校、岡山県立興陽高等学校、IPU・環太平洋大学の3校と訪問交流を行います。本交流会では、単なる成果報告にとどまらず、被災地のリアルな経験や想いを直接受け止め、これからの地域社会や防災、探究学習について共に考えを深める貴重な機会としたいと考えております。

報道関係の皆様におかれましては、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

■ 交流会概要

日 時： 令和8年9月29日（火）14:00～15:30

場 所： 岡山県立和気閑谷高等学校 管理棟3階会議室（住所：岡山県和気郡和気町尺所15）

出席者：石川県立輪島高等学校（山上教諭、2年次生2名）

株式会社山博、和気町危機管理室

IPU・環太平洋大学（大池准教授、学生3名）

岡山県立和気閑谷高等学校（2年次生6名、3年次生1名）

■ 当日の流れ

14:00 来校

14:10～14:15 和気閑谷高校生徒（「閑谷學」ビジネスゼミ）による報告 「バスソルトの取組成果」

14:15～15:00 輪島高校生徒による発信 防災教育「震災の経験、現状、そして復興への想い」

15:00～15:30 交流

写真撮影、見送り